

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄

▲ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町1-12-23

室賀輝男

TEL 0258-32-0428



神楽峰での揃い踏み

今年もよかった

苗場小松原スキーツアー

担当理事 桑原悌治

花だよりがきこえる。

快晴の3月27、28日、県山

協主催による、苗場山塊小松

原スキーツアーが実施された。

参加者は総勢32名。昨年に比

べ20名程減少したが、県外の

参加者と夫婦組、女性の参加

増ではなやか。賑やかなツア

ーとなった。

ねぐらは雪洞

初日、下の芝までリフトで

登り、あとは新雪を踏んで神

楽峰の雪洞に宿をとる。寒波

の去ったあと、現わしはじめ

た苗場の山肌は白銀のベール

で化粧なおし、真冬の様相を

呈していた。樹氷がすみきつ

た紺碧の空にくっきりと林立、

長い影を墨を引いたように雪

面におとしていた。

雪洞は太い雪庇に穴を掘る。

雪が堅いこと、アルミの角ス

コはいささか手こずりもん、

剣スコが威力を発揮した。

夜はおきまり、世界の銘酒

「焼酒」で乾盃、翌朝までは

死んだ真似！

きらめく苗場

雲一つない、音もなし、苗

場の山は夜明けの陽光にきら

めき、どっしりと四囲をへい

げいていた。絶好のツアー

びよりである。

唯もがいった、「来てよか

った」。雪質よし快適な滑り

で尾根を降り、難所キリノト

ウの急斜面は堅く氷り、新雪

で覆う、慎重に下る。三ツノ

山からはシラビソの樹氷、ブ

ナの原生林を縫ってとばし、

新装なった小松原小屋で昼食

となった。

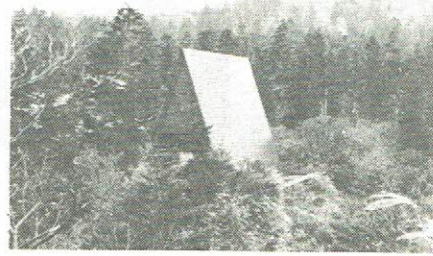
小松原湿原をゆっくり散策

しながら大谷内ダムへと緩斜

面を滑り下った。和田小屋よ

り20キロ、越後のゴールド

ツアーコースといえよう。



感動のシュプール

ツアーは終わった。どっかりと腰をおろす。真黒に陽やけした顔がふりかえる。稜線に残したシュプールを追う。思い思いの感動を覚え、脳裏にきざみこんだことであろう。全員無事下山、日本山岳会 斉藤桂氏の音頭で万才三唱。来年はどのツアーになるだろう、愉しみを残して散っていった。

(主管 津南山岳会)

冬山登山技術研修会

兼指導員研修会 報告

柏崎山岳会 山口 誠

本年度は今迄別々の日程で行なわれておった研修会を、日程の関係上同時に柏崎市谷根に於いて2月20日、21日実施された。こゝ二、三年内容も充実してきており、今回は国土地理院北陸地方測量部の山岡光治講師を迎えて研修会の主眼とする事になった。

2月20日 雨

例年より早い2月の研修会

定刻18時に開講する。望月副

会長、杉原委員長、地元山岳会等の挨拶、協会事務連絡、米山現地情報など。19時、講師到着ただちに講演に入った。山岡光治講師による「山の高さの測量」等を中心に約2時間の講演であったが、なかなか内容のある有意義な講義であった。

21時より懇親会。例によって大宴会となり、万才のあと会場を階下に移しての盛況ぶりであった。

2月21日 曇時々晴

昨夜の雨も上り、雲の流れも早い。時々青空も見えひと安心する。6時50分温かい味噌汁の差し入れで朝食をすませ出発。

今回は米山登頂班と、技術研修班とに分れる。雪の無いアスファルト道路を登山口の新猿飛橋まで行き、ここでワカンを着装し出発。例年の半分くらいの積雪と、しばらく降らなかったのラッセルの心配なく、柏崎山岳会山小屋の脇から、前山に向けて直登

する。途中ダムを一望できる

眺湖台を過ぎ、牛の寝場を通り前山(607米)に出る。昨夜の歴戦のなごりか、青息吐息。前山のピークに出て、ここから尾根上を白蛇ヶ池に進んだ。ここで技術研修班は、協会指導員を講師として各班に分かれ、米山湖側の斜面を利用してコンテニアス、スタカット、確保等のザイルワークを学ぶ。

登頂班14名はほとんど無風の尾根を進み赤岩山(751米)に9時20分到着。雪の状態も良く、頂上を目指す。キレットから熊野権現のピークにむけ直登する。この付近では赤岩沢の方に大きな雪庇が出るのであるが、今年はその心配がない。気温が上ったせいかな

初めて経験だったので、興味もあり、おもしろいと思

冬山登山技術研修会に参加して

白雪山の会

桑野 繁子

いました。雪上の確保についていろいろと教えていただいたのですが、以外に講習時間が短かったように思われます。

参加者

- 映彩6、白雪1、秀峰2、悠峰4、むささび2、下越2、栃尾2、長岡ハイク12、高田ハイク3、モンテローザ1、糸魚川1、朝路6、高体連3、柏崎12、協会9、計66名

今回の講習について感じた事や反省点を上げてみると、

まずもう少し雪が多かったら良かったと思います。単に登

頂するだけなら通常の登山の場合でも様々な場合があり、

藪が多くて歩きにくくても仕様がないと思いますが、講習

の場も藪がところどころ出ていたのももう少し広いところ

ならなお良いと思います。

雪質が雨が降ったあとでザラメ状で重く滑りにくかった

ので、確保の時本当に止めたのか雪との摩擦で止まったの

か疑問に思う事がありました。講習の内容も直前まで知らな

かったのも、もう少し早くわかっていたらゼルブストの用

意もできたのではないかと思

います。

最後に、実際の講習の場ではザイルの基本的な結び方が

できなかつたり、雪にとびこむ時にもたついたりして、皆

様に迷惑をかけたのではないかと反省しています。もっと

日ごろから勉強しておかなければいけないと思いました。

悠峰山の会

長谷川 かおる

私にとっての登山は、ただただ尾根道を歩くだけで何の

技術もなく、機会があったら技術を習得したいと思ってお

りました。それで今回参加させて頂きました。

第1日目の山岡講師の講演では、いろいろな御苦勞な面

を知ると同時に、今後への地図の見方に新たな考えを持た

されました。

翌日は雪上歩行技術班に参加しました。加しましたが、スターカット

法を学ぶ際、その前段階としてのロープ結びに時間を費や

してしまい、グルーブの皆様

に御迷惑をおかけして申し訳なく思っております。ふだん

からの練習の必要性を痛感しました。又、午後からのコン

ティニユアスは、平地でなく

実際斜面を使ってやりたかったです。

今後の希望としましては、

雪洞(いろいろな種類がある

ようですが)を造ってその中

で一晚過し、翌日は訓練を行

なうという方法は如何でしょう。又、このような企画に参加したいと思っても、会場

が遠かったり、仕事の都合で休みが取れないという方もいらっしゃると思いますので、

遭難対策指導者研修会

に参加して

長岡ハイキングクラブ 五十嵐 義和

日山協の主催で2月7日、

神奈川県登山訓練所で一般救助における救急技術の実践と

いう内容の研修会が開催された。新潟県から3名のほか、

関東甲信地域から20数名が参加した。

午前中は屋内で救急法の研修が行なわれた。三角布や包帯を使って、負傷者の患部の

保護を実践する。人工呼吸や心臓マッサージなどの実践で

は、参加者が2人で組になって交互に実践する。みな真剣

である。心臓は胸部のどの位置にあるだろうという講師の

質問があったが、胸の中央に一箇所だけでなく、ブロック

毎に日時をずらしてやっている。ただけなら幸いに存じます。

今回、ご指導くださった講師の皆様には心からお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

あると答えた人は少なかつた。胸の左よりにあると思っ

改めて大切さを感じる。骨折部を副木で固定し縛ったら、

30分に1回、しびれ、血液流を確認する。輸血の準備が必

要な時は、早く連絡することが大切である。次の研修は止

血法の実践である。冷やす、

圧迫、高揚がポイント。

圧迫法で手足の血液流を止めてみたが、良く止まるもの

だ。わずかな時間でも止めていると血圧が変化するので、

なんとなく気持ちが悪い。

午後からは屋外で岩場からの救助の実践である。10m程

の高さの石垣のゲレンでを使って対岸の立木にワイヤーを

張り、ザイルと担架、滑車を

操作する。滑車は、直径20cm、

ワイヤーは航空機用のものが良い。ワイヤーシュリンゲな

どは、造ってもらっておくと便利だと思ふ。担架は背負子

を2台連結させたものを、ザイルで吊り下げ、動滑車でワ

イヤーを滑らせる。カラビナ

を架ける金具は軽合金製で工夫されている。負傷者を背負

うために使うバンドが、東京

と神奈川の岳連でそれぞれ造られていたが、一長一短があり、目的によって使い分けようにされた。東京都岳連からの作品は、救助に持ち出すため大型である。神奈川岳連が作ったものは、常時携帯できるようにコンパクトになっている。簡略してあるが実践的で使いやすい。

日常の参考で救急用品と救助用具を所持していることが必要だ。しかし品物がなくてと痛感した。

国体少年組

最終選考報告

小林 光 衛

昨年11月上旬、上越市青田南葉山で行なわれた国体県予選会は、初日の踏査競技は終えたものの、2日目の縦走競技は、全く予期しない降雪で60年ぶりとこの事—のため中止の止むなきに到った。

そのため、少年組については踏査競技で、上位の成績をおさめたチームを候補とし、最終選考は4月19・20・21日

念頭におき、代表チームは男

第37回島根国体・第3回北信越国体 監督選手候補

種別	役職	氏名	郵便番号	住所	所属
成年男子	監督	片桐一夫	940-21	長岡市上除町甲1765-1	長岡ハイキングクラブ
	選手	金子佳一	949-36	柏崎市米山町2385	柏崎山岳会
	"	佐藤正彦	949-54	長岡市上富岡町長峰1603-1技大B-223	長岡ハイキングクラブ
	"	斉藤裕幸	949-54	" " 技大B-506	"
"	"	宮崎雅弘	940	" 北山4-139青喜ハイツ5号	"
成年女子	監督	平田大六	959-32	岩船郡関川村小見237	関川村山の会
	選手	小笠原久美子	959-32	" 関川村蛇喰419	"
	"	佐藤浩子	959-32	" 関川村安角332	"
	"	小池由美子	959-32	" 関川村下関529	"
	"	布川文子	959-28	" 黒川村黒川上野1764	"
"	"	高橋美千代	959-32	" 関川村大石103	"
少年男子	監督	中村政道	950-21	新潟市寺尾上3-4-37南ヶ丘荘	新潟工業高校
	選手	斉藤明	951	" 文京町19-6	"
	"	五十嵐洋義	950-33	豊栄市大瀬柳3781	"
	"	阿部芳文	951	新潟市関屋恵町10-26	"
少年女子	監督	小林光衛	950-21	新潟市松美台7-23	新潟中央高校
	選手	宮崎好永	950-21	" 坂井2245	"
	"	大橋知弥子	950-21	" 寺尾上2-1-40	"
	"	牧野敬子	950-21	" 寺尾東3-3-14	"

新規約（規約第19条に定める別表分担金）

① 加盟団体の分担金	
加盟山岳会員数	
20名まで	8,000円
21名より50名まで	9,000円
51名より10名まで	10,000円
101名以上	12,000円

② 遭難対策基金
上の各項1/2宛

に改正された。分担金納入の際ご注意ください。

- 一、昭和56年度事業報告
 - 一、昭和56年度収支決算報告
 - 一、会計監査報告
 - 一、規約の一部改正（別記）
 - 一、昭和57年度事業計画
 - 一、昭和57年度収支予算
 - 一、新加盟団体の紹介
 - 一、第4回北信越国体について
 - 一、分担金未納団体の納入促進
 - 一、その他
- 以上の案件承認了解され、県内各地情報交換の懇親会とな

4月11日（日）11時より、新潟市駅前ステーションホテル2Fで評議員会開催される。

参加26団体39名出席、委任25団体。協会長挨拶の後、関川村山の会平田大六氏を議長に選出し、議題が審議された。

評議員会報告

子新潟工業高校（監督 中村政道）、女子新潟中央高校（監督 小林光衛）を推薦することに決定した。

男子新発田、女子三条東のチームがそれぞれ昨年の出場メンバーで今度の大会に不参加者が居り、この点も選考の折

なお、選考対象のチームで、考慮したことを付記しておく。

り、参加者一同親交を深めた。

○銀行振込

第四銀行長岡東支店

新潟県山岳協会 口座

普通121262

（振込団体名を正確に記入）

協会・行事・活動報告

- 丹後山遭難者捜索 3月21日 4名参加 出席
- 日山協理理事会 3月28日 東京 鈴木理事長出席
- 国民体育大会山岳競技規則研修会 4月18日 長岡 室賀輝男 藤井信 平田大
- 丹後山遭難者捜索 3月21日 出席
- 国体委員総会 4月11日 東京 藤井国体委員長出席
- 国民体育大会山岳競技規則研修会 4月18日 長岡 室賀輝男 藤井信 平田大
- 丹後山遭難者捜索 5月22日 9名参加
- 丹後山遭難者捜索 5月22日 2名参加
- 日山協理総会 5月23日 東京 鈴木理事長出席
- 丹後山遭難者捜索 4月24日 13名参加
- 丹後山遭難者捜索 5月5日 9名参加
- 丹後山遭難者捜索 4月24日 13名参加
- 第37回国体県予選会少年の部最終選考会 4月19日 21日 別記
- 六 阿部信一 小林由夫 坂井厚 清水迪夫 斎藤裕 幸 杉本敏 9名参加

行事案内

夏山登山技術講習会

期日 6月26日（土）20時～6月27日（日）

会場 南魚沼郡湯沢町土樽 土樽山の家及び万太郎谷お滝の沢

参加資格 協会加盟団体に

携行品 各山岳会毎にザイル一本。三ツ道具等持参。

服装で参加の事。

会費 4000円（土樽山の家素泊料、参加料）

日程 26日午後8時開講式、座学

申込 6月20日迄に協会事務局に申込む事。

問合せ（担当） 小林由夫（秀峰山岳会）

27日午前5時起床、6時出発、実技

☎025631 214198

☎02581 4616448

婦人部

植物観察登山

の御案内

連休の一時を思う存分残雪の山へ、新緑の山へとそれぞれに楽しまれたことと思いません。

婦人部も53年4月に発足し5年目になり一つの節を迎えた感があります。親睦を計る、かたわら意義ある行事と配慮してまいりました。

二王子岳の残雪期の登行から日本平の焚火と生活技術、巻機山の登攀と沢、五頭の踏査、内の倉での登攀などの技術訓練と基礎知識を踏まえ回を重ね着実に発展してまいりました。これも皆様の絶大なご協力のたまものであると感謝しています。

今年も過去の実績を踏まえ皆様の御要望に応え、次の要項で植物観察登山を計画しました。植物は、ご承知のとおり多くは雪解けから7月までの一時を競い合って咲き誇る

ので、小松原湿原に一番適した時期を選びました。ご都合があるかと思いますが、万障繰り合わせのうえご出席ください。

また、この度は、日本山岳会婦人部の方々が申込まれておりますので、交流を計るまたとない機会かと思われま

お互いに情報を交換し、楽しい意義ある一時を過したいと思えますので、どうか気軽に参加されますようお願いいたします。男性の参加も歓迎いたします。

なお、宿泊の申込がありませんので参加される方は、6月10日までに連絡ください。また、日帰り参加の方も歓迎しています。

記 行) 日時 7月17~18日(雨天決行) 場所 苗場 小松原湿原 目的 高山植物観察登山 集合場所 駅前会館(津南駅の近く) 集合時間 17日:17時、日帰りの方は18日:6時

宿泊地 駅前会館 13
宿泊費 4000円(3食付)
昼はおにぎり漬物程度、
寝袋持参) 0加藤記代子
参加費 1000円(バス代及び雑費)
T950-21
新潟市浦山2-8-6
0252-65-4495
装備 日帰り装備、靴は地下足袋がよいでしょう。
宿原でもぐるところがあります。
地図 二万五千分の一で赤沢と苗場山
コース バス1時10分(津南駅) 下山-田代-所平-大場(経由) 登山口から小松原湿原までの往復、登り2時間
解散 18日15時30分
植物指導 青山和子(新潟望遠山岳会) 加藤明文(むささび会)
申込連絡先 0平田大六
T959-132
岩船郡関川村小見237
02546-4-1245
0山田智子
T950-101
中蒲原郡亀田町旭1-1

昭和57年度 一般山岳団体指導者 夏山研修会案内

主催 文部省
期日 昭和57年7月22日(木) 7月26日(月)
会場 文部省登山研修所 富山県中新川郡立山町千寿ヶ原
0764-82-1211
(実技: 剣岳周辺)
参加資格 各会(クラブ)のリーダー若しくはリーダー候補者(男・女)
講師 中島道郎(京都市民病院医師) 他5名
参加費 約8500円(研修所食費3食、入山食糧6食、入山費用、保険料、雑費)

あ と が き

技術強化(国体)委員長が、国体山岳競技実施基準が、また大幅に変更になったと嘆いている。指導者が新しいルールをマスターし、選手に浸透する頃はもう本番になる。本県は山岳県なので登山の基礎技術は充分もっているのだが、ルールと競技には弱い面がある。第37回島根国体は是非頑張ってもらいたい。
丹後山遭難者の遺留品が続々出て来ていますが、新井さんはまだ発見されていません。入山の際に発見にご協力下さい。問合せ、事務局、協会長宅。

参加申込み 6月21日(月)までに協会事務局へ連絡(氏名、年齢、住所、電話、勤務先、勤務先電話) 他に登山経歴書、健康診断書(様式あり) 提出